美馬市が万博で魅力発信！

― 藍・和傘・子どもたちの体験で未来へつなぐ ―

大阪・関西万博の会場で、藍や和傘を通じて地域の伝統文化の魅力を多くの来場者に発信しました。訪れた人々は美馬市ならではの技術や文化に触れ、楽しみながら学ぶ様子が見られました。また、市内の小・中学生も体験授業として参加し、未来につながる学びや国際文化等に触れる貴重な機会となりました。

01 和傘がつくる幻想的な空間

和傘やランプシェードを展示。明るさが変わる中で表情を変える和傘の姿に、多くの来場者が写真撮影を楽しみました。浴衣姿の人々や市章入りの和傘も登場し、幻想的な雰囲気が会場を彩りました。また、徳島ええとこステージでは、美馬和傘を実際に手に取りながら、蛇の目の仕組みや内側にある五色（ごしき）の美しさを紹介。来場者は、和傘の奥深い魅力に引き込まれていました。

02 藍の葉でつくるオリジナルトートバック

夏にしかできない藍の葉を使った「こすり染め体験」を実施しました。4 回に分けたワークショップには計 59 名が参加しました。参加者は、世界に一つだけのオリジナルバッグ作りに夢中になり、「楽しかった」「完成が楽しみ」との声がありました。美馬市ならではの藍文化を体感いただく貴重な機会となりました。

03 藍染商品や特産品を販売

真夏の炎天下の中でも多くのお客様でにぎわい、藍染製品・特産品を販売。大盛況の物販を通じて市の魅力を元気にPR しました。

子どもたちが体験授業として万博へ

５月８日から６月 27 日にかけて、市内小・中学生の生徒が、未来社会を体感するとともに、多様な文化や価値観に触れるため、体験授業として万博を訪れました。多くの海外パビリオンに訪れ、子どもたちはさまざまな国の文化等に興味津々でした。

万博の竹ベンチには美馬市産の竹が使われています

会場内に設置されている休憩するための竹のベンチ。
実は美馬市産の竹が使われています。大阪・関西万博に行かれた際には、避暑地として活躍するこのベンチもぜひチェックしてください。